



PHIL JONES BASS

Boosterrooster

オーナーズ・マニュアル

Boosterosterをご購入頂きありがとうございます。
この取扱説明書をよく読んで、末永くご愛用ください。

まずお読み下さい

- ・ご使用の前に、このマニュアルをよくお読み下さい。
- ・開梱後、本体にダメージなどがないかご確認ください。もしダメージなどが認められる場合、お買い上げの販売店に報告してください。
- ・外箱などの梱包材は保管してください。

警告

下記の警告や注意事項に反するご使用で破損や問題が生じた場合は、
保証の対象になりませんので、ご注意下さい。



誤操作や誤使用により感電する恐れがあります。

ヒーターやストーブなど、熱源の近くに置かないでください。
この取扱説明書で指定された電源以外での使用は避けてください。
安全のために、長時間ご使用にならない時は、電源コードを抜いて下さい。



使用上の注意事項。

以下の場合にはご使用をおやめください。

1. 目に見える損傷がある場合。
2. 飲み物、雨などの湿気にさらされた場合。

これらの症状が認められた際にはリペアショップにご相談ください。

概要

Booster(PE-2)は、ベースギターおよびウッドベース用に設計された高性能なプリアンプ/ブースター・ペダルです。

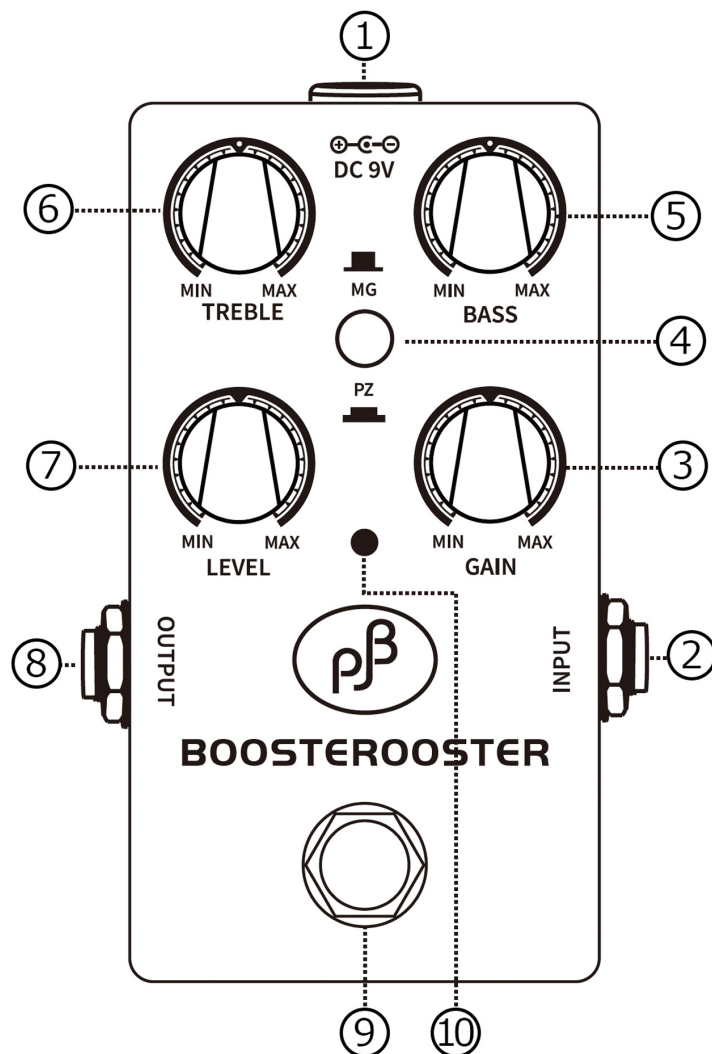
ウッドベースやアコースティックベースの奏者にとって、接続する機器は常に悩みの種です。通常のピエゾ・ピックアップは、約 $10\text{M}\Omega$ の出力インピーダンスを持っています。これを標準的な $2\text{M}\Omega$ 以下の楽器入力端子に接続すると、インピーダンスの不整合によってハイパス・フィルターが形成され、 120Hz より下の低域が削られてしまいます。楽器の胴鳴り、重み、基音的なキャラクター、それらがアンプに届く前に失われてしまうのです。BoosterのPZ入力はピックアップに対して $4.7\text{M}\Omega$ で受け止め、このロールオフ・ポイントを 30Hz まで下げて、楽器本来の全周波数特性を取り戻します。

$4.7\text{M}\Omega$ のPZ入力は、下限であると同時に上限でもあります。入力インピーダンスを $4.7\text{M}\Omega$ より高く設定すると、機械的ノイズ、指の接触音、物理的な振動まで拾って増幅してしまいます。こうしたノイズには音楽的な価値はなく、一度シグナル・チェーンに入ってしまうと取り除くことはできません。 $4.7\text{M}\Omega$ の入力は、機械的ノイズを音質に影響しないレベルに抑えながら、楽器の持つ全音楽帯域を再現するために必要なものをピックアップの出力から拾い上げます。

なお、ピエゾ・ピックアップの場合に、 $2\text{M}\Omega$ のMG入力を選択する事が常に間違いというわけではありません。 120Hz より下のロールオフは、特に深い低域をクリーンに再生しきれない小型のベースアンプでは有効に働くことがあります。その場合、 $2\text{M}\Omega$ 入力による自然な低域の低減がアンプの負担を軽くし、よりタイトで制御された音を生み出すことがあります。意図的に使うのであれば、これは間違いではなくひとつの選択です。

逆に、一般的なマグネット・ピックアップを搭載するエレクトリック・ベースを接続する場合に、PZ入力を選択する事も間違いではありません。不必要なノイズに注意さえすれば、意図的に 30Hz までロールオフ点を下げる事で、多弦ベースの幅広い周波数特性を活かした、有機的なサウンドが得られる場合もあるでしょう。

各部の名称と機能



1. DC IN

9～18V DCに対応します。センターマイナス（チップ＝マイナス、スリーブ＝プラス）仕様の一般的なペダル用アダプターをご利用ください。

2. 1/4インチ INPUT（入力）

入力用端子です

3. INPUT GAIN（入力ゲイン）

お使いのベースの出力に合わせて、Boosteroosterに入る信号レベルを最適化します。コントロールを最小位置から始め、通常の演奏レベルで楽器を弾きながら、信号が力強く明瞭になるまでゆっくりと上げていきま

す。歪みやクリッピングが聞こえたら、コントロールを少し戻してください。最も大きな演奏レベルでもクリーンを保てる最高のゲイン位置が、正しい設定です。これを最初に正しく合わせておくことで、後段のすべて、EQ や出力レベルが最良の信号で動作するようになります。

アクティブ・ベースでは、楽器側のプリアンプで低域や高域をブーストすると、出力信号の強さがかなり増加します。アクティブ・ベースのEQ を大きく変更した場合は、Boosterosterの Input Gain を再確認し、信号がクリーンでクリッピングしていないことを確かめてください。

4. INPUT IMPEDANCE (入力インピーダンス) MG/PZ

このスイッチはトーン・コントロールではありません。マッチング (整合) のためのコントロールであり、設定を誤ると低域が失われます。

MG (2M Ω) : マグネティック・ピックアップ用。標準的なエレキベースおよびギターのピックアップに適しています。

PZ (4.7M Ω) : ピエゾ・ピックアップ用。ウッドベース、アコースティックベース用のピエゾ・トランスデューサーなど、プリアンプを通過していないピックアップに適しています。

ピエゾを搭載した楽器がBoosterosterを通すと薄く、または胴鳴りが乏しく聞こえる場合は、まずこのスイッチを確認してください。

5. BASS CONTROL (低域コントロール)

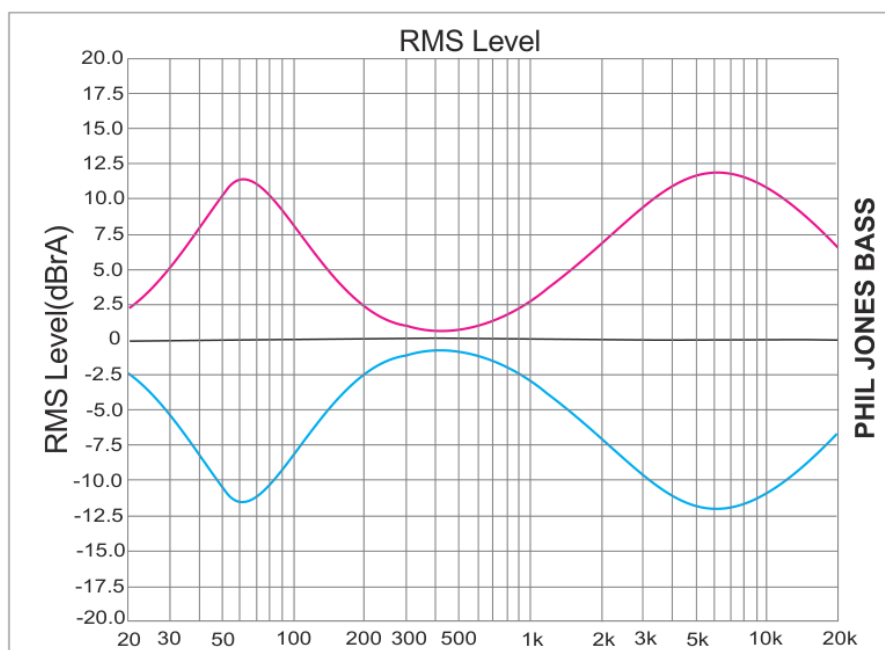
中心周波数：60Hz。可変範囲： ± 12 dB。

BoosterosterのBassコントロールは、標準的なシェルビング・フィルターではありません。アンプが失いがちな基音的な低域をブーストする一方で、その上に位置する上部低域や下部中域を持ち上げません。およそ150~300Hzのこの上部帯域は、ベースのトーンが厚くぼやけてしまう領域です。幅の広い低域ブーストはこの領域まで一緒に持ち上げ、音を悪くしてしまいます。Boosterosterの Bass コントロールの狭いQは、ブーストを基音だけに集中させます。

その結果、どのベースアンプに接続しても、Bass コントロールは濁りを加えることなく、クリーンで存在感のある低域を届けます。

6. TREBLE CONTROL (高域コントロール)

高域を、中心周波数 6kHz で調整します。可変範囲：±12dB。



EQ 応答カーブ (BASS/TREBLE 最大ブースト・カット時)

7. OUTPUT LEVEL (出力レベル)

Boosterosterの出力レベルを設定します。

8. 1/4インチ OUTPUT (出力)

出力用端子です。

9. EQ/BYPASS フットスイッチ

プリアンプ/EQを有効にする、またはバイパスします。バイパス時は、いかなる信号処理もされずに直接出力へルーティングされるトゥルー・バイパスです。

10. EFFECT ON/OFF インジケータ

プリアンプ/EQが有効なときに点灯します。

Boosteroster 仕様

- 入力インピーダンス：PZ=4.7M Ω 、MG=2M Ω
- 最大入力レベル：4V (peak to peak)
- ゲイン幅：-6dB to +18dB
- EQ：BASS(60Hz) +/-12dB, TREBLE(6KHz), +/-12dB
- 入力端子：楽器入力 (1/4"フォン)
- コントロール：GAIN, LEVEL
- スイッチ：バイパスフット・スイッチ
- 出力端子：1/4"アウト(アンバランス)
- 電源端子：DC9V-18V (1A, センターマイナス仕様)
- サイズ：60(W) x 112(D) x 52.5(H)mm
- 重量：209g

PJB製品日本総代理店



〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山711-1

TEL:0561-72-9801



pjbjapan.com